

2024年3月期連結決算概要

説明資料

円谷フィールズホールディングス株式会社

東証プライム市場
証券コード 2767

2024年5月

2024年3月期 連結業績予想と実績との差異

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2024年3月期(予想)	123,000	12,000	12,200	8,500	129円97銭
2024年3月期(実績)	141,923	11,827	12,947	11,551	176円56銭
増減率(%)	+15.4%	△1.4%	+6.1%	+35.9%	+35.8%

■ 主な差異要因(売上高、親会社株主に帰属する当期純利益)

〈売上高〉

- ・ PS事業セグメントの販売が好調に推移

〈親会社株主に帰属する当期純利益〉

- ・ 2024年3月期2Qより持分法適用関連会社したダイコク電機(株)に関する持分法による投資利益
- ・ 2024年3月に子会社化した(株)ソフィアの買収により生じた負ののれん発生益

(ご参考:営業利益率推移)

	2023/3期	2024/3期
連結	9.3%	8.3%
コンテンツ& デジタル事業	30.1%	24.7%
PS事業	7.7%	8.3%

(単位：億円)

連結P/L	2023年 3月期	2024年3月期				2025年 3月期	
	通期	通期	対前期増減率	期初予想 (2023年5月15日付)	対期初予想比	通期予想	対前期増減率
売上高	1,171.2	1,419.2	+21.2%	1,230	+15.4%	1,550	+9.2%
売上総利益	253.2	264.5	+4.5%	—	—	—	—
販売管理費	143.7	146.3	+1.8%	—	—	—	—
営業利益 (対売上高営業利益率)	109.5 (9.3%)	118.2 (8.3%)	+8.0%	120	△1.4%	152 (9.8%)	+28.5%
経常利益	112.1	129.4	+15.4%	122	6.1%	161	+24.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	82.2	115.5	+40.5%	85	35.9%	116	+0.4%

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

(単位：億円)

事業セグメント別P/L	2023年 3月期	2024年 3月期				2025年 3月期		
	通期	通期	対前期増減率	期初予想 (2023年5月15日付)	対期初予想比	通期予想	対前期増減率	
コンテンツ&デジタル事業 セグメント	売上高	145.3	153.3	+5.5%	180	△14.8%	180	+17.4%
	営業利益 (対売上高営業利益率)	43.7 (30.1%)	37.8 (24.7%)	△13.6%	60	△37.0%	40 (22.2%)	+5.8%
PS事業セグメント	売上高	1,008.0	1,255.9	+24.6%	1,040	+20.8%	1,350	+7.5%
	営業利益 (対売上高営業利益率)	77.1 (7.7%)	104.1 (8.3%)	+35.0%	80	+30.2%	135 (10.0%)	+29.7%
その他	売上高	23.0	16.0	△30.3%	-	-	-	-
	営業利益	0.7	0.1	△73.6%	-	-	-	-
調整額	売上高	△5.2	△6.1	-	-	-	-	-
	営業利益	△12.1	△23.8	-	-	-	-	-

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

各事業セグメントの詳細につきましては、それぞれのプレゼンテーション資料をご参照ください。

2024年3月期 連結決算概要説明資料

株主還元・配当政策

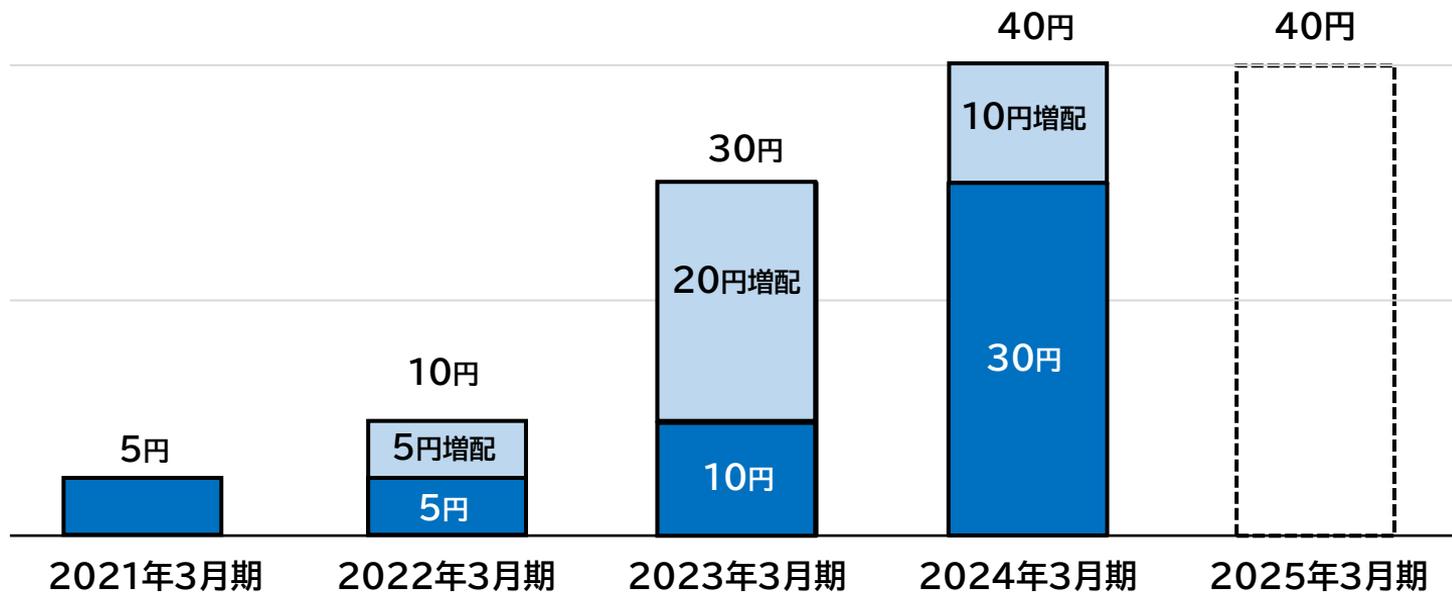
当社は、企業価値の向上を経営の重要課題と位置付け、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。

一方、市場環境の急激な変化に伴い

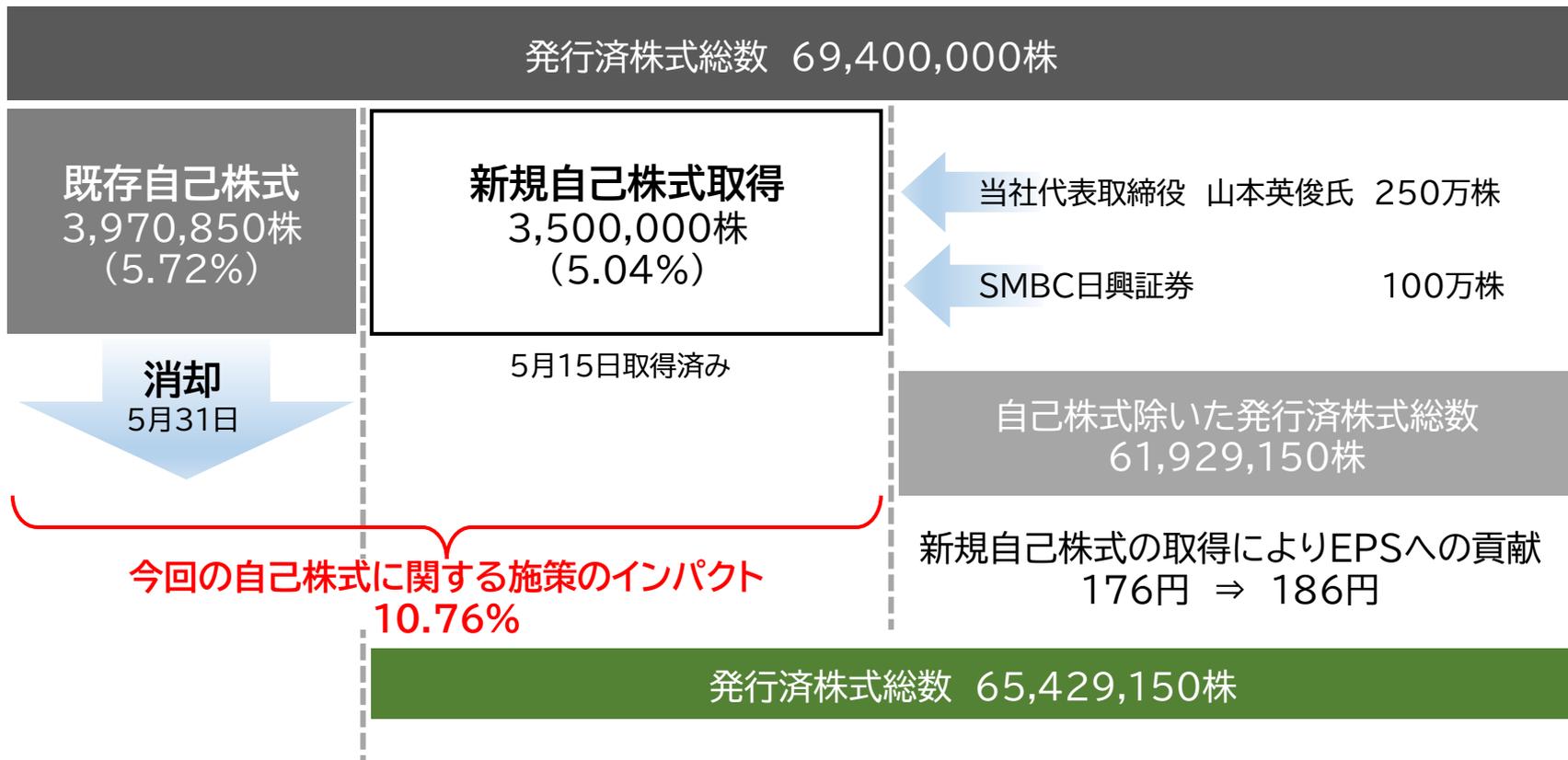
- ①中長期的な視点で財務基盤の安定化を図り
- ②収益拡大に向けた投資資金の確保を優先する

これらが将来的な企業価値向上も含めた最大の株主還元につながると判断しています。

1株当たり配当金の推移



当期純利益	△3,452百万円	2,471百万円	8,221百万円	11,551百万円	11,600百万円
-------	-----------	----------	----------	-----------	-----------



Appendix

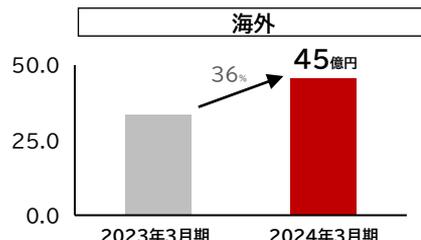
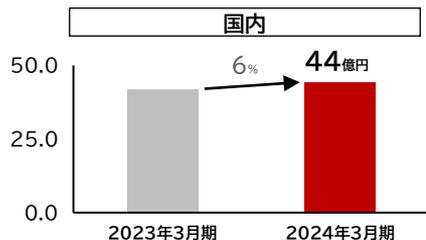
2024年3月期 連結決算概要説明資料

コンテンツ&デジタル事業セグメント

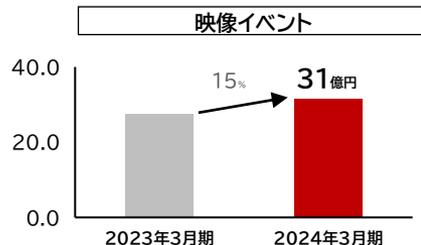
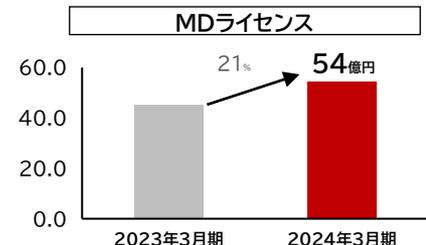
(単位：億円)

	2023年3月期	2024年3月期	
	通期	通期	対前期増減率
売上高	145.3	153.3	+5.5%
営業利益	43.7	37.8	△13.6%

国内/海外MDライセンス(除カードゲーム)収入



事業別(グローバル・除カードゲーム)収入



※千万円未満は切り捨てて表示しています。 ※MD：マーチャндаイジング
 ※イベントからの事業収入拡大に伴い当第3四半期より「映像事業収入」の名称を「映像イベント事業収入」に変更しております。

MDライセンス

- ・当期は幅広く商品カテゴリーポートフォリオを拡充
(玩具、アパレル・ファッション等)
⇒特定の商品の動向に左右されにくい、より強固な収益基盤を構築
- ・開発中のよりゲーム性の高いトレーディングカードは、
中国、北米、ASEAN及び日本で順次販売開始予定
⇒新商品発売をにらみ現在販売のカードゲームでは調整の動きあり

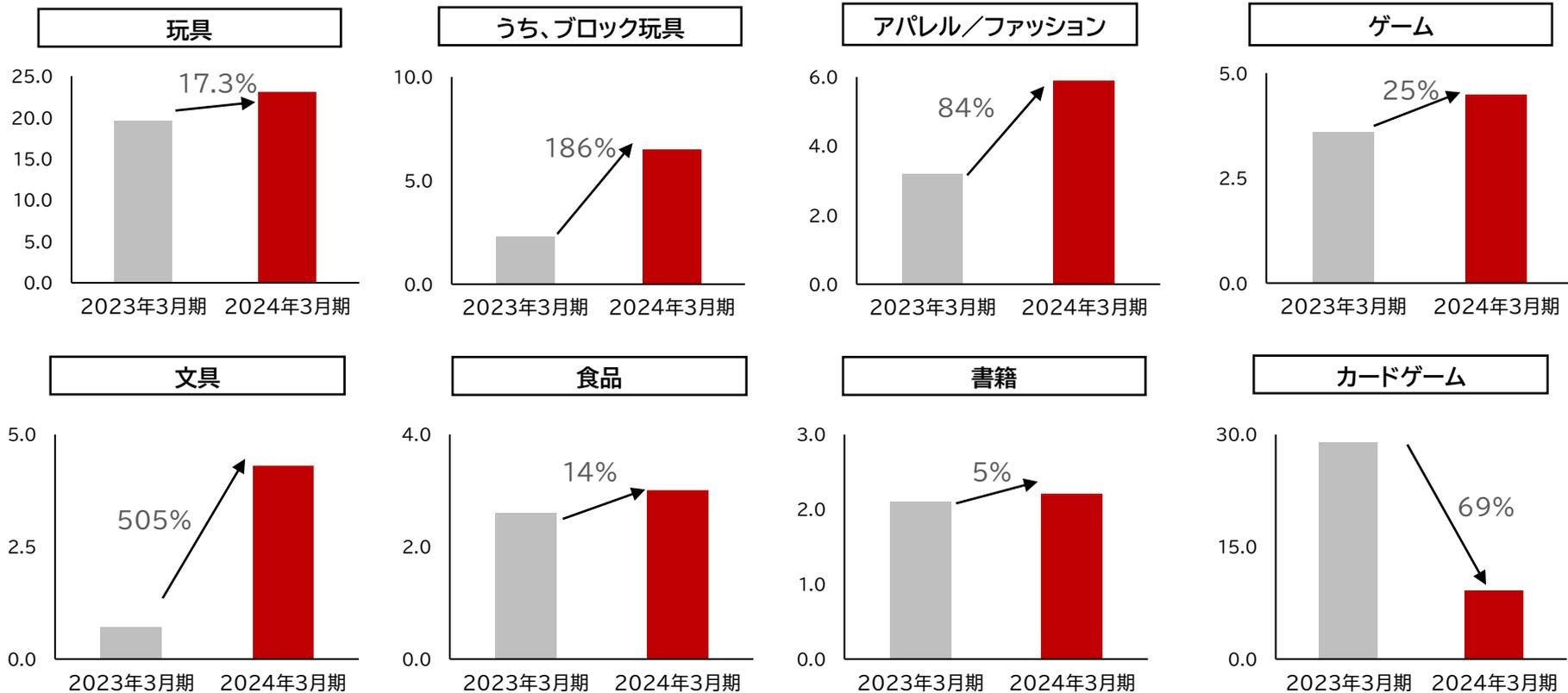
映像

- ・映画『ウルトラマンブレーザー THE MOVIE 大怪獣首都激突』
2月に国内166館、アジア6カ国・地域で公開しヒット
3月にTSUBURAYA IMAGINATIONでの配信も開始

イベント

- ・中国テーマパーク内の常設ステージを備えるウルトラマンエリア
当期で4カ所目が開業し、いずれも集客好調
- ・国内もウルトラマンショーは予想を超える集客
- ・ウルトラマングッズを扱うオフィシャルショップに、海外から訪日したファンがオリジナル商品を求めて訪れる姿も多く見られた

主要商品カテゴリー別(グローバル)収入(億円)



※「玩具」カテゴリーは「カードゲーム」を除いております。

『ウルトラマンブレーザー』映画、国内外でヒット

- ▶ 映画『ウルトラマンブレーザー THE MOVIE 大怪獣首都激突』が2月劇場公開し、3月より配信開始
アジア各地でも上映ツアー開催し、大盛況



タイ



インドネシア



台湾



インドネシア

⇒ テレビ、映画、配信と違うデバイスでの映像作品展開で
今まで接触機会のなかった層へのファン拡大を図る

ショー・イベント大盛況

- ▶ 夏/冬休み開催『ウルトラヒーローズEXPO』
11月に開催したファン向け大規模イベント
『TSUBURAYA CONVENTION』
⇒ チケットはいずれも完売し、グッズ販売も好調



ウルサマ2024



ウルトラヒーローズEXPO サマーフェスティバル:
次回ウルサマ2024は、東京(池袋)・大阪(梅田)の二都市にて初の同時開催が決定

⇒ 引き続きライブイベントでのファン層拡大・
ライセンス商品の拡充に取り組む

新TVシリーズ『ウルトラマンアーク』

- ▶ シリーズ第30作品目*
- ▶ 国内はテレ東系列6局ネットでの放送のほか、近年のウルトラマンシリーズ作品の中国やアジア圏における人気急騰を背景に、海外展開地域・対応言語を拡大

—英語のほか中国*1、香港、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム*1の現地語の吹き替え版の同時期*2放送・配信

—YouTubeを含む配信サイトでも、世界11言語の字幕(英語・韓国語・インドネシア語・マレー語・ベトナム語・タガログ語・ラテン語・ポルトガル語・ヒンディ語・中国語・タイ語)で同時期配信



* 日本国内向け30分フォーマットの連続ドラマで、その作品で初登場したキャラクターを主人公として描いたテレビ番組のタイトル数に、海外向けに制作し、後に国内でテレビ放送された2作品も加えた数。

*1 中国・ベトナムはオンライン配信です。

*2 「同時期展開」とは、日本での放送からおおよそ1週間以内の公開を指します。

Netflix長編映画『Ultraman: Rising』

- ▶ 2024年6月14日配信開始
- ▶ 「親子」、「家族」をテーマにすべての世代で楽しめる新たなウルトラマンストーリー
- ▶ 国内や北米を中心にパートナー企業と公開に合わせた商品展開を準備中



⇒北米などグローバルに新たなファン層の拡大を目指す

CG映像制作を堅調に受注

▶ VFX制作

Amazon Prime Video

『沈黙の艦隊 シーズン1 ~東京湾大海戦~』

Netflix 『幽☆遊☆白書』

▶ その他、大型アニメ映画／ゲーム案件等



⇒ 世界で日本のVFX技術が注目を集めていることを受け、
グローバル市場向けコンテンツ制作の
リーディングカンパニーを目指し体制の整備を進める

「デジタル・ヒューマン」技術を活用した新規領域

▶ アバター遠隔接客サービス「KSIN」が経済産業省の「IT導入補助金2023」の対象に認定

▶ より多くの人に、簡単に、かつ手軽に体験していただくことをねらいに、タイムシェア方式で利用できる新機能「KSIN Time Share」も追加

ーオンラインミーティングにて高精細なアバターを、月額や年間の契約なしに、10分以内であれば15回まで無料で利用可能
 (10分以上は200円/10分で利用可)



⇒ 引き続き新規領域の取り組みを積極的に進める

Appendix

2024年3月期 連結決算概要説明資料

PS事業セグメント

(単位：億円)

	2023年 3月期	2024年 3月期	
	通期	通期	対前期 増減率
売上高	1,008.0	1,255.9	+24.6%
営業利益	77.1	104.1	+35.0%

販売実績

パチンコ販売	15.1万台	18.7万台	+23.6%
パチスロ販売	6.8万台	7.2万台	+6.7%
合計	21.9万台	26.0万台	+18.4%

※千円未満は切り捨てて表示しています。
 ※千台未満は切り捨てて表示しています。

市場

・パチンコ

市場販売台数は約84万台(前年同期比15%減)
 パチンコ設置台数全体のうち、スマート機へと移行したのは約4%
 一方、新ゲーム性「ラッキートリガー」(24年3月～)搭載機種が高い支持を獲得
 ⇒パチンコに対するパーラーの投資意欲も回復することが見込まれる

・パチスロ

約82万台(同26%増)
 パチスロ設置台数全体のうち、約35%がスマート機へと移行

当社

- ・パチンコ7機種18.7万台(前期比23.6%増)
 パチスロ6機種7.2万台(同6.7%増)
 パチンコ・パチスロ合計26.0万台(同18.4%増) を販売
- ・市場シェア14.7% (前期は12.9%)

【2024年3月期 パチンコ・パチスロ主な販売タイトル】

プライベートブランド

	上半期		下半期		通期	
	1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)		
パチンコ	P コードギアス 反逆のルルーシュ Rebellion to Re:surrection 2.0万台	P 百花繚乱 1.0万台	ぱちんこ 水戸黄門 超極上	P 弾球黙示録カイジ 沼5 運否天賦	7機種	
	P バルセルク無双 冥府魔道ver.	P 七つの美德 ゴールデンエンジェルタイム	ぱちんこ シン・エヴァンゲリオン Type レイ 5.4万台	スマパチ シン・エヴァンゲリオン Type ギンドウ		
	新世紀エヴァンゲリオン ~未来への咆哮~ (再販) 2.4万台	P 貞子3D	スマパチ シン・エヴァンゲリオン Typeカヲル 1.2万台	P 新世紀エヴァンゲリオン ~未来への咆哮~ PREMIUM MODEL		
	ぱちんこ ウルトラマンティガ ウルトラ超光ライトver.	P 新世紀エヴァンゲリオン ~未来への咆哮~ SPECIAL EDITION	ぱちんこ GANTZ覚醒 RUSH180	P コードギアス 反逆のルルーシュ Rebellion to Re:surrection ライト ver.		
	4.2万台	4.2万台	7.6万台	2.5万台		
パチスロ	L バルセルク無双 1.4万台	S 織田信奈の野望 全国版	L ひぐらしのなく頃に 業	L ゴジラ対エヴァンゲリオン		6機種
	パチスロ モンスターハンターワールド: アイスボーン™ (再販)	L エヴァンゲリオン ~未来への創造~ 1.7万台	L リングにかけろ1 V 1.7万台			
	1.7万台	2.2万台	2.6万台	0.6万台		
合計	6.0万台	6.5万台	10.2万台	3.1万台		

Appendix

2024年3月期 連結決算概要説明資料

連結B/S、連結C/F

Appendix 2024年3月期 [連結B/S、連結C/F]

(単位：億円)

連結B/S	2023年3月末	2024年3月末	対前期増減額
流動資産	588.6	648.4	+59.7
固定資産	220.2	332.9	+112.6
資産合計	808.9	981.3	+172.4
流動負債	304.8	306.1	+1.2
固定負債	85.8	116.8	+30.9
負債合計	390.7	422.9	+32.1
純資産合計	418.1	558.4	+140.2
負債純資産合計	808.9	981.3	+172.4

連結C/F	2023年3月期 通期	2024年3月期 通期	対前期増減額
営業キャッシュ・フロー	125.6	55.6	△69.9
投資キャッシュ・フロー	△76.4	△41.0	35.4
財務キャッシュ・フロー	△7.2	△31.4	△24.2
現金及び現金同等物の増減額	41.9	△16.8	△58.7
現金及び現金同等物の期首残高	323.0	364.9	+41.9
現金及び現金同等物の期末残高	364.9	348.1	△16.8

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場における競争状況、取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。